

習俗の住処

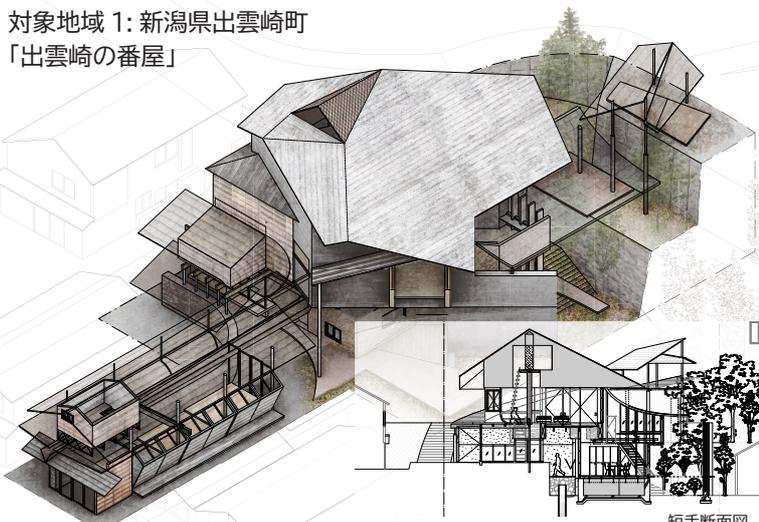
The house of folkways

立花研究室 三井田 昂太

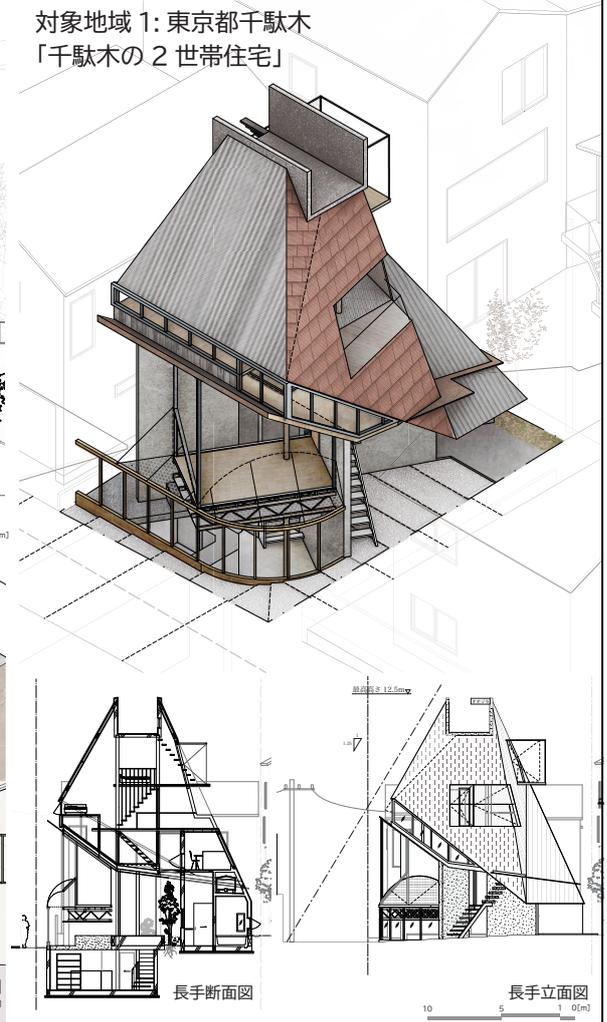
研究概要：習俗と住宅建築及びそれを構成する建築部位との関係の一端を明らかにし、それを展開・応用することで異なる2つの地域において建築を提案する。

研究目的：日本では数多くのしきたりや風習が伝承されており、これらは習俗という言葉で総称されることがある。建築部位の形状や位置に対し自身や死後の世界を投影する等の解釈とそれに伴う動作がなされてきた。このような習俗は長い歴史の中で培ってきた知識と豊かな生活観の現れであった。本研究は住宅建築における習俗と建築部位の関係の一端を明らかにすることを目的とする。

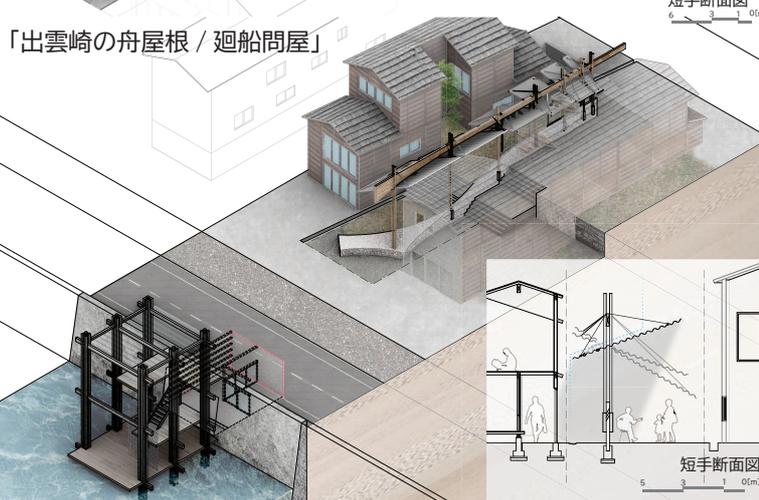
対象地域 1: 新潟県出雲崎町
「出雲崎の番屋」



対象地域 1: 東京都千駄木
「千駄木の2世帯住宅」



「出雲崎の舟屋根 / 廻船問屋」



苦労した点や感想など：

習俗という異なる分野の学問に対して建築の観点から論を進めることと、それを設計へと昇華するため論を展開してゆくことに苦労しました。このような研究に対してご教授いただきました先生方や関わってくださいました方々に感謝申し上げます。